



ふれあい

2015年12月
現在の会員数
男性 1,223名
女性 496名
合計 1,719名

2016年/1月
148号

題字 府中市市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



謹賀新年

手づくりの会による作品

本年もよろしく
お願いいたします



会長 山口 弘美
副会長 松田 肇
常務理事 瀬谷 周三
理事 橋本 征夫

智田 悦子
近藤 敦夫
橋本 周三
瀬谷 肇
松田 弘美
山田 昌三
山田 基男
山田 豊彦
山田 優子
山田 悦子
山田 敦夫
山田 周三
山田 肇
山田 弘美

職員一同

●目次

- 新年のごあいさつ..... 2
- シルバー人材センターフェア..... 3
- 申年生まれの元気な会員さん..... 3
- 各地域懇談会..... 4-5
- けやき並木ボランティア清掃..... 6
- 働く会員の職場訪問..... 6
- 府中市民協働まつり..... 7
- 会員投稿ページ..... 7
- 府中リサイクルフェスタ 2015..... 8
- お知らせ..... 8

平成28年 年頭あいさつ

会長 渋谷 彰



新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様には、清々しい新年
をお迎えのことと心からお慶び申
しあげます。

本年度は、当センターが設立さ
れて39年目を迎え、幾多の変遷を
経ながら諸先輩のご努力によりま
して、躍進を遂げました。こ
れも会員皆さんの努力と自主・自
立・共働・共助の精神の賜物であ
ると確信しております。

ここ数年、当センターはもとよ
り、会員数の減少や受託金額の伸
びが鈍化しています。このような
状況を打破するため、本年は、育
児・子育て支援・介護事業を推進
し、その体制づくりを進めていか
なければなりません。

また、就業機会を拡大するため、

現在の就業形態である「請負」業
務を拡充するとともに、新たな就
業形態として会員が事業所の指揮
命令を受けるなど、労働者として
就業する「派遣」事業を実施して
いく必要があります。1月以降、
希望する会員の皆様に登録してい
ただきまして、新たな就業拡大に
務めてまいりたいと思っております。

ただ与えられた業務を無難にこ
なすだけでは、これらの難局を乗
り越えていくことができません。
会員、役員、事務局職員が一体と
なって知恵を出し、行動していく
必要があります。

結びに、当センターのますます
の発展と会員皆さんのご健勝を祈
念して新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

府中市長 高野 律雄



新年明けましておめでとうござ
います。

公益社団法人府中市シルバー人
材センターの会員並びにご家族の
皆様におかれましては、輝かしい
平成28年の新春をお健やかに迎え
のことと心からお喜び申しあげ
ます。また、皆様には日頃より、
市政の各般にわたり、ご理解とご
協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、貴センターにおかれまし
ては、地域の発展のため、共に働
き、共に助ける「共働・共助」を
理念に、事業内容の充実に努めら
れるとともに、市民の皆様信頼
され、安定した実績を築いてこら
れましたことは、誠に同慶にた
えません。これもひとえに、渋谷
会長をはじめ、歴代の役員並びに

会員の皆様が、誠意ある仕事に努
めてこられた賜物と、深く敬意を
表す次第でございます。

高齢化が進む現在、本市でも高
齢者人口は年々、増加しておりま
す。近隣市と比較いたしますと、
本市の65歳以上の高齢化率は低い
値にとどまっておりますが、こう
した数値よりも大切なことは、高
齢者の方々が元気に、はつらつと
した毎日を過ごし、「健康寿命」
を延ばすことであると感じており
ます。これまで積極的に地域や社
会とつながることができ、貴会への
期待とその役割は、今後、ますます
大きくなるところでございます。

どうか会員の皆様方におかれま
しては、今後とも幅広い知識と豊富
な経験を生かされまして、ご活躍く
ださいますようお願い申し上げます。
新春にあたり、公益社団法人府
中市シルバー人材センターのます
ますのご発展と、会員並びにご家
族皆様のご健勝、ご多幸を心より
お祈り申しあげまして、新年のご
挨拶といたします。

「シルバー人材センターフェア」開催

10月21日(水)〜22日(木)の二日間、フォーリス1階(光と風の広場)で開かれました。市民とふれあい、事業活動を広く知っていただくイベントで、今年で6回目となります。

会場ではパソコン教室、刃物研ぎ、出張着付け、子供学習教室、書道教室、植木剪定、襖障子張替、おたすけ隊の各職群班の相談受付、手作り小物販売などのコーナーが設置され賑わいました。また、市民参加の企画も喜ばれました。「お手玉無料講習会」(お手玉を作る)は関心度が高く、多くの方が参加されました。書道教室では市民が書いた書を先生が講評する企画で、先生から拍手が出る場面もありました。

会員の就業活動の様子を、新たに設置されたデモモニター大画面や壁面写真パネルで紹介され、立止まってみる姿も見られました。

今回は、シルバー人材センターのマスクットキャラ「シルバー君」も登場です。七五三で神社に向かう子供さんや、多くの子供たちが大はしゃぎでシルバー君と一緒に

親御さんのカメラに収まる光景も見られました。

2日目の午後には高野府中市長の訪問もあり、松田事務局長の案内で見学され、各職群班の会員が活動内容を市長に説明していました。小物班コーナーで、市長が作品の帽子を手に取り「これからの季節に暖かそうですね」と、手間を労うように話されていました。

会期中、2千人余りの来場者で、センターの活動を宣伝する楽しいイベントとなりました。



吉田征三さん (今年72歳)

「いつ死んでもおかしくない時代に、育ててくれた親に感謝している」そう話す吉田さんは、終戦前の昭和19年生まれ。

現在は四谷文化センターで管理業務を行っており、「人との触れ合い、仲間と仕事するのが楽しい」と話します。

そんな吉田さんは趣味も多彩です。昨年からシルバーのウォーキングクラブに参加し、月1回、下北沢や横川街道などを散策。会社員時代の仲間と楽しむ水彩画や溪流釣り、グリーンプラザで行われる書道教室にも通っています。

「社会の一員として過ごすことが、健康の秘訣。家族と楽しく暮らしながら、7回目の年男を迎えたい」と笑う吉田さん。再登場も期待しています。

申年生まれの元気な会員さん



大平スミ子さん (今年84歳)

中央労働金庫や公園の清掃業務に従事している大平さんは、かなり早口で、「仕事が生きがい。マイペースでできるので、自分の性に合っている」と話します。

明るい大平さんですが、家業の建設業が経営不振になり、土地や家屋を処分するなどの、ご苦労も。

当時は、車にお連合いを乗せて、支えたといえます。50年に及ぶ運転歴も80歳を区切りに終止符を打ちました。

今は、高齢者住宅「やすらぎ」で一人住まいですが、お孫さん4人、曾孫さんも4人いて、家族旅行などを楽しんでいきます。今年になって、少し体調を崩されたという大平さん。どうぞ無理をしないで、これからも元気に働いてください。

各地域懇談会が開催されました

住吉地域懇談会

10月14日(水)午後、住吉文化センターで開催されました。司会は古谷・伊藤班長の分担で進められました。山口副会長、松本地域担当理事、和田監事、事務局の伊澤さんが参加され、センターの現状と課題について説明がありました。その後、出席者の意見交換が活発に行われました。



是政地域懇談会

10月30日(金)是政文化センターにて、松田常務理事、斉藤理事、伊澤主事の出席で浅井地域委員の司会で開催されました。会員の自己紹介に続き、常務理事から現状と課題の説明がありました。



質疑応答では会員から★当センターでの派遣事業の取り組み、★職種による年齢制限★新規就業に当たつての選考方法、★同じ作業仲間でのトラブルの解消策、★問題発生時の事務局の現場への対応等会員が抱えている種々の課題の提起に、事務局の懇切丁寧な説明があり、有意義な2時間でした。

片町地域懇談会

10月31日(土)、片町文化センターで開催された地域懇談会には、片町を始め美好町から日鋼町まで23人の会員が参加しました。初めに、松田事務局長と地域在住の理事をはじめ各班長と会員の自己紹介と、それぞれの働きぶりや会員の所在の把握情報不足などの実情報告などがありました。



事務局長からは事業実績と就業の拡大と信頼される就業、各地域ボランティア活動への参加促進と安全就業と適正就業について。今年度発生した就業中の事故例などのお話がありました。最後に林班長による「けん玉」の歴史と実技があり全員で体験競技で盛り上がりました。

紅葉丘地域懇談会

11月9日(月)午後、紅葉丘文化センターで開催されました。センターから渋谷会長、松本・齊藤・橋本理事、事務局の伊澤主事が参加されました。岡本地域委員の司会で開始され、渋谷会長からセンターの現状と課題について説明がありました。



次に、社会福祉協議会の村谷様から「認知症を知る」と題して認知症サポーター養成講座の教材に沿った講演がありました。関心の高いテーマであり、趣旨に賛同した多数の方が「ささえ隊」ネットに登録してオレンジリングを受取りました。その後、出席者の意見交換が活発に行われました。

白糸台地域懇談会

11月10日(火)午後、白糸台文化センターで開催されました。センターから渋谷会長、齊藤地域担当理事、事務局の伊澤主事が参加されました。八島地域委員の司会で開始され、渋谷会長からセンターの現状と課題について説明がありました。その後、参加者から自己紹介と仕事の様子や質疑応答等の発言がありました。

第二部は府中警察署交通課の関屋様の交通安全に関する講話でした。高齢者の交通安全の注意点として、歩行中や自転車利用中など、具体的な事例紹介が有りました。



中央A・B地域懇談会

11月11日(水)、中央文化センターで開催された地域懇談会には、宮西町から晴見町までの広い地域から54人の会員が参加しました。冒頭に、渋谷会長から「再開発に伴い請負事業の減少が危惧され、打開策として派遣事業の展開を検討している」との報告がありました。

新人からベテランまで十人十色の自己紹介や昼食を挟んで行われた出前寄席は、漫才「ダメよ。ダメダメ、ニセ電話」、落語「賢明な消費者たれ」と、シルバー世代にドンピシャのネタ。笑いの渦に包まれつつも、「冷静な対処」の重要性を痛感しました。



武蔵台地域懇談会

11月11日(水)、武蔵台文化センターで開催されました。

畑地域委員司会で進行。松田事務局長からセンター現状報告の後、7月から始まった未就学児童や家族をケアする「子育て支援事業」を大坪業務委員から、ボランティア清掃を通じ、武蔵台緑地公園の環境保護の状況を鶴岡地域委員からありました。自己紹介や松本理事進行の質疑応答と続きました。

後半、落語家の桂竹千代さんの「そんなあなたが騙される」の振込め詐欺の注意喚起演目の軽妙な落語で、疲れと緊張を癒され、閉幕となりました。



新町地域懇談会

11月13日に新町文化センターにおいて、高橋班長の司会により、新町地域懇談会が開催されました。

いつも御世話頂く出口地域委員を始め、各町内の班長の本橋、小椋山、岩崎、中野、佐田、友松、田村、長谷川、土倉、田中さん方々のご尽力による会は、大坪就業開拓員の子育て事業等の話で盛り上がり、最後の質疑応答で活発な質問も出て、充実した懇談会となりました。



けやき並木 ボランティア清掃



10月23日(金)午前8時から開催され55人の参加者が集まりました。渋谷会長のあいさつの後、甲州街道を挟み北と南のブロックに分かれ、それぞれ別の袋と竹ぼうきにちり取りを片手にけやき並木

の枯葉や不燃ごみをかき集め、清掃に励みました。通勤や通学の自転車等が行き交う中、事故の無いようグループごとの連携で1時間程で綺麗に掃き清められました。



働く会員の職場訪問 ワークフランチ「機械班」

皆さんにはあまり馴染みがないと思いますが、草刈班にとっては機器のメンテナンスをしてくれる重要な部署です。

小柳町のワークフランチを訪ね、リーダーの依田三郎さんにお話を伺いました。現在、依田さん、平野さん、北向さん、戸邊さん、浅田さんの5名がシフトを組み活躍しています。スタッフは自動車のエンジニアだった方など、機械が大好きな方々です。

機器は、肩掛け刈払い機45台、大型草刈り機10台、大型芝刈機4台、計60台程あります。それら機器の刃研磨や交換、モーター駆動ベルト、エンジン部分の調整や交換等を、分解して修理整備の作業をしています。

刈り込み機は刃の形状も様々です。肩掛け機は従来の円盤状の4枚刃、小石が飛ばない様に工夫された刃、虫の触角の様に刃に当たる部分に2本の突き出した紐状のナイロン製ロープで草を刈る

刃(エンジンの高速回転で紐が刃のように変わる)などです。大型機は刃が72枚、駆動ベルト6本と、機器部所の研磨や点検も多くなります。機械部品が調達出来ない時など、スタッフの創意工夫が活かされる場面も多々あります。

仕事は、草が伸びる5月頃から秋にかけて最も忙しくなりますが、オフシーズンも繁忙期には出来なかつたメンテナンス、来季のための整備も怠りません。

今日も整備された機器を現場に届け、草刈り班が公園や多摩川の草を綺麗に刈り上げて行きます。緑の下力持ち。いや、園の下力持ちとして活躍する機械班です。



写真右から 依田さん、浅田さん、平野さん

府中市民協働まつり つながりフェスタ

11月21日(土)～22日(日)に第一回府中市民協働まつり「つながりフェスタ」がグリーンプラザ、フォーリスなどで開催されました。昨年までは「NPO ボランティアまつり」として開催されていましたが、今年から「協働」をもちこんだ内容に変更し、まつり名も変えて開催されたものです。

昨年府中市制施行60周年記念式典にて採択された「市民協働都市宣言」にもとづき、11月が市民協働推進月間と定められ、市や各団体、市民などが、よりつながりな深め、お互いに協働して「積極的」にまちづくりに参加」をしていくというものです。

フォーリス会場には、高野府中市長も来られ、オープニングのあいさつがありました。

グリーンプラザ会場には、約60団体が出展されていましたが、1階の入口ぎわに、府中市シルバー人材センターの「小物販売班」が出展していました。お手玉や、ニットの帽子、財布、セーター、防寒着などの手作り作品が中心ですが、手ごろな価格に多くの来場

者が集まり、にぎわっていました。一階では古本市も開催されましたが、当センターから寄贈した古本も店頭に並びました。一冊50円と格安価格での販売も好評で、二日目は品薄のようでした。売上金は全額、府中市社会福祉協議会に寄付されたとのことです。



あなたの作品を募集します！ 第5回ふれあい作品展

作品受付期間 ■平成28年1月12日(土)～22日(金)
 ※当日消印有効
 ※受付期間中でも募集点数80点になり次第締め切ります。
募集点数 ■80点(1人1点・先着順) ※出展料は無料です。
申し込み ■出展申込書に必要事項を記入の上、事務局に提出。郵送でも可。※申込書はセンター窓口にてお渡しします。
作品内容 ■洋画(油彩・水彩等) 日本画、版画、書、写真、オブジェ、人形、彫刻等※生花不可
作品展開催日 ■平成28年2月19日(土)～22日(月)
会場 ■府中グリーンプラザ5階 展示ホール

会員さんの投稿写真・絵画・書・俳句・川柳など



小牧光男さん「女郎蜘蛛」：写真



松島正子さん「晩秋の白樺林にもみじの赤が映える」：写真



田嶋淳さん「三井豪邸跡」：写真



青柳奎吾さん「もみじ」：写真



田中和美さん「晩秋の蓼科湖」：写真

金盃に
酒を満たして
春を呼ぶ
勇次郎

●毎号会員の皆様からの投稿をお待ちしております。下記Eメールアドレスまたは事務局まで奮ってご応募ください。
 fsc@fsc.or.jp

府中リサイクル フェスタ2015

10月24日(土)午前10時からず
ずかけ公園で「府中リサイクル
フェスタ・2015」が開催され
ました。府中市と府中リサイクル
推進協会の共催で物の有効利用・
リサイクルの推進を目的としてフ
リーマーケットが100店舗出
店しました。府中市のコーナーで
は使用済み小型家電回収と、新庁
舎建設PRがありました。

晴天に恵まれ、来場者の出足も
早く開始の10時まえからフリー
マーケットの出店の準備と来客で
混雑が始まりました。家族連れや
グループの来客は沢山の出店を見
て廻るため、子供たちは専用の子
供広場で遊び、それぞれ充分に楽



しんでいました。子供広場には手
作り工作や昔遊び体験のコーナー
(風車・お手玉作り等)が用意さ
れていました。

センターからは刃物研ぎ班と小
物販売班が参加し、お楽しみとし
てスパーボールすくいも開催し
ました。刃物研ぎ班の方による
と、「特に出足が早く午前中は休
憩を取る間もないような忙しさで
した。」との事でした。
リサイクルの定着で盛況に終り
ました。



お知らせ

11月21〜22日開催された「府中
市民協働まつり『つながりフェス
タ』」において、会員の皆さまま
らご寄付いただいた物品の売上が
3,250円になりました。
また、赤い羽根共同募金は2,
427円の寄付金が集まり、合
わせて5,677円を社会福祉協
議会に寄付いたしました。
ご協力ありがとうございました。



平成27年度主な行事予定

実施月 行事名

- 1月 役員班長合同懇談会(14日)
- 第2回安全推進大会(22日)
- 2月 第4回ふれあい作品展
(19日〜22日)

計 報

- 高林 静男(新町)
- 荒木 美直(晴見町)
- 畠山 博行(白糸台)
- 小林 治郎(白糸台)

編集後記

平成28年を迎えて新たな渋谷会長のもと、支援事業や派遣事業への参入などが始まります。高野市長からの「共働・共助」の理念からセンターも期待される存在にとあ
いさつがありました。

27年度センターフェアやケヤキ並木清掃などの行事と各地域懇談会の開催もありました。まだまだ元気に働く申年生まれの会員さんからも「仕事が生きがい」と独自の健康法や趣味などが支えになっているお話もありました。